

令和7年度末本校生徒の教育に関するアンケート結果について(お知らせ)

令和7年度の学校教育活動等について、保護者のみなさまから寄せられたアンケート結果がまとまりましたのでお知らせいたします。総数で94名のご回答が寄せられました。たくさんの貴重なご意見をありがとうございました。今回のアンケート結果とご意見を全教職員で共有し、これからの本校教育活動に活かしていきたいと思ひます。特に低評価の項目については真摯に受け止め、改善につなげていこうと思ひます。

令和7年度保護者アンケート結果(総数94名)

視点	番号	観 点	よくあてはまる	だいたいあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	わからない
子どもの家庭や学校での様子・学校の取組	1	規則正しい生活を送っている。	13.8%	61.7%	22.3%	2.1%	0.0%
	2	十分な睡眠がとれている。	17.0%	57.4%	22.3%	2.1%	1.1%
	3	朝食をしっかりと食べている。	51.1%	33.0%	11.7%	3.2%	1.1%
	4	宿題も含めて、毎日家庭で勉強する習慣がついている。	19.1%	40.4%	35.1%	4.3%	1.1%
	5	インターネットやゲーム、スマホの使い方についての約束事は、家族で話し合っている。	16.0%	52.1%	24.5%	6.4%	1.1%
	6	学校のことについて、よく家族と話をしている。	35.1%	39.4%	23.4%	1.1%	1.1%
	7	家の手伝いをよくする。	17.0%	36.2%	35.1%	10.6%	1.1%
	8	礼儀正しく、丁寧な言葉遣いができている。	18.1%	56.4%	23.4%	2.1%	0.0%
	9	家族や近所の人など地域の方にあいさつをしている。	37.2%	47.9%	12.8%	0.0%	2.1%
	10	子どもは学校に楽しく登校している。	35.1%	52.1%	7.4%	3.2%	2.1%
	11	学校のきまりやマナーを守って生活できている。(登下校の交通ルールも含む。)	37.2%	51.1%	7.4%	1.1%	3.2%
	12	子どもは友達や先輩、後輩と仲良くしている。	42.6%	48.9%	5.3%	0.0%	3.2%
	13	子どもは部活動に熱心に取り組んでいる。(部活動に参加していない場合はEわからないにチェック)	42.6%	30.9%	6.4%	3.2%	17.0%
	14	HPや学年通信等を通して、学校での活動の様子がよくわかる。	14.9%	51.1%	30.9%	1.1%	2.1%
	15	先生は授業を分かりやすく丁寧に教えてくれている。	19.1%	41.5%	20.2%	2.1%	17.0%
	16	学校は人権を大切にしている教育活動に努めている。	16.0%	51.1%	19.1%	2.1%	11.7%
	17	学校、先生は子どものことを理解しようと努めている。	24.5%	45.7%	21.3%	1.1%	7.4%
	18	学校はトラブルや問題があったときは、迅速に対応している。	24.5%	51.1%	12.8%	3.2%	8.5%
	19	困ったことや悩みごとを、学校に相談しやすい。	16.0%	46.8%	27.7%	6.4%	3.2%
	20	学校はタブレット・ICT機器を使った教育を適切に行っている。	18.1%	52.1%	18.1%	1.1%	10.6%
	21	保護者や地域の意見が教育活動に反映されている。	11.7%	46.8%	21.3%	3.2%	17.0%

保護者アンケート結果について

○「よくあてはまる」の割合が、前年度比で問15「授業の質」9.9%→19.1%、問16「人権教育」が7.2%→16.0%、問17「生徒理解」が16.2%→24.5%、問18「トラブル対応」が12.6%→24.5%と、より強く肯定的評価をして下さっている結果になりました。保護者のみなさまの学校への信頼感が向上してきた現れであると捉えています。

○問9「地域へのあいさつ」が37.2%(+13.8)、問12「友人関係」が42.6%(+15.6)、問13「部活動への熱意」が42.6%(+12.0)と、生徒の主体性、社会性を表す問いについて、「よくあてはまる」の評価が高くなっています。これは生徒の学校外(家庭や地域)で見える生徒の様子が、保護者のみなさまの目から見ても良くなってきたことを示していると考えられます。

○問4「家庭学習」の肯定層は62.1%→59.5%と微減しており、改善が見られません。家庭での学習支援、動機付けが大きな課題です。

○問19「学校への相談しやすさ」の「あまり〜」「まったく〜」の合計が34.1%と高く、昨年度より微増しています。三好中学校は今年度「家庭と協働した教育活動」を、学校教育目標実現のための方策の一つに掲げています。相談する上で保護者の心理的ハードルが高くならないよう、対話を重ね信頼に基づいた関係を築いていかねばならないと感じました。

○問14「情報発信」、問21「意見の反映」については、高い評価とは言えませんが、少しずつ改善傾向にあると捉えています。情報公開の努力をこれからも続けていこうと考えています。

本校の教育全般についての要望、意見(要旨を掲載)

【学習指導・家庭学習の進め方について】

○家庭学習の環境整備と解答配布の要望
未習内容が宿題になることがある。
テスト前に一括配付するのではなく、自己採点・復習のための解答配付をしてほしい。
→各教科担当が学習の進行状況、生徒の様子を見ながら配付していたと思いますが、十分な学習効果を得られない現状があると認識しました。配付時期や方法を再検討し、柔軟に対応をしたいと思います。

○定着を重視した学習サイクルの確立
「解かせっぱなし」にせず、学校での丸付け・解き直しの徹底や、テスト勉強の時間を確保できるように、計画的に課題を出してほしい。
→家庭学習の習慣が身につくよう、学校と家庭との役割分担なども考慮しながら、適切な量と質の課題を提示したいと思います。

【生徒への接し方・心の教育について】

○個々の成長に寄り添う指導
生徒の失敗を成長の糧として捉え、感情的な正論だけでなく、一人ひとりの心に寄り添った愛情ある指導をお願いしたい。

○「学びの多様性」と「平等な視点」
学力のみで生徒を評価せず、どんな生徒にも平等に目を向けてほしい。
→決して生徒のことを学力至上で評価をしませんが、そうと捉えかねない言動が教師の側にあったのだと思ひます。失敗を許容しつつ、数値化できない生徒たちの多様な活躍を支えていきたいと思います。

【学校運営・開かれた学校づくりについて】

○保護者と学校のコミュニケーション
相談しやすい雰囲気づくりや、保護者が気軽に学校へ足を運べる機会(学年部会や部活見学と併せたオープンスクール等)の工夫をしてほしい。
家庭訪問を学校での個人懇談に変更してほしい。
→令和8年度は、家庭訪問は実施せず、保護者と教員の二者面談を計画しています。また、授業参観だけでなく、学校祭や体育祭、人権意見発表会などの行事に足を運んでいただき、子どもたちのはつらつとした様子を見てください。その際に、保護者のみなさんといろいろなお話をさせてもらい、心のハードルを下げることであれば幸いです。

○校外学習等の豊かな体験や経験をさせてくださりありがとうございました。現在の良好な校風を維持し、生徒が悩みなく楽しく過ごせる学校体制を継続してほしい。
→保護者、地域の方に支えていただきながら、全教職員と全生徒でよりよい学校を作っていきます。ご協力ありがとうございました。

【学校改善に向けた厳しいご指摘】

○アンケート結果が実際の改善に結びついていない。
現状に満足せず常に改善をしてほしい。
→保護者のみなさまの意見を全教職員で共有しています。厳しい意見も真摯に受け止め、よりよい学校づくりに活かしていきます。

生徒アンケート(総数122名)

視点	番号	質問	そう思う	だいたい そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない
子どもの家庭や学校での様子・学校の取組	1	規則正しい生活が送れている。	34.4%	43.4%	20.5%	1.6%
	2	十分な睡眠がとれている。	22.1%	43.4%	29.5%	4.9%
	3	朝食はちゃんと食べている。	70.5%	21.3%	3.3%	4.9%
	4	毎日家庭学習をしている。	37.7%	34.4%	20.5%	7.4%
	5	インターネットやゲーム、スマホは家族との約束を守って使用している。	32.0%	41.0%	18.9%	8.2%
	6	学校や部活動であったことを家族によく話をする。	50.8%	24.6%	16.4%	8.2%
	7	家族の一員として、家の手伝いをよくしている。	25.4%	44.3%	22.1%	8.2%
	8	礼儀や言葉遣いには気をつけている。	37.7%	50.0%	11.5%	0.8%
	9	親、地域の方、友達、先生にあいさつをしっかりとしている。	53.3%	40.2%	6.6%	0.0%
	10	学校に楽しく登校している。	44.3%	44.3%	8.2%	3.3%
	11	学校のきまりやマナーを守って生活できている。(登下校の交通ルールも含む)	56.6%	38.5%	4.9%	0.0%
	12	同級生や先輩、後輩と仲良くできている。	61.5%	35.2%	3.3%	0.0%
	13	部活動に意欲的に参加している。(部活動に参加していない生徒は「そう思う」にチェック)	74.6%	18.0%	2.5%	4.9%
	14	学校からの便りや学年通信、保健室だよりなどを親にちゃんと見せている。	41.0%	36.1%	18.0%	4.9%
	15	授業中、先生は分かりやすく丁寧に教えてくれる。	42.6%	48.4%	9.0%	0.0%
	16	人権学習に意欲的に取り組んでいる。	45.9%	45.1%	8.2%	0.8%
	17	自分のことをよく理解してくれる先生がいる。	38.5%	42.6%	16.4%	2.5%
	18	自分の考えや気持ちをよく理解してくれる友達がいる。	68.9%	25.4%	4.9%	0.8%
	19	困ったときに相談できる先生がいる。	39.3%	35.2%	17.2%	8.2%
	20	授業中、タブレット等を場面に応じて適切に使用している。	68.9%	28.7%	0.8%	1.6%
	21	目標に向かって努力することができている。	57.4%	34.4%	8.2%	0.0%

アンケート結果について

<p>【対人関係と学校生活の充実】 ○同級生や先輩、後輩と仲良くできている(96.7%)、さらに「理解してくれる友達がいる(94.3%)」と、非常に高い肯定率となっており、生徒たちの対人関係は非常に良好であり、安心感をもって学校生活を送れている様子が見えます。 部活動に92.6%の生徒が意欲的に取り組んでおり、放課後の活動が自己実現や居場所の確保につながっています。 ○88.6%の生徒が「楽しく登校している」と回答しており、学校全体に活気があります。しかし、10%を超える生徒がそう思えないと考えていることを真摯に受け止め、すべての生徒にとって安心安全で楽しい学校にしていく努力をしていかなければならないと考えています。</p> <p>【規範意識と学習姿勢】 ルールを守る意識が高く、ICT機器の活用もスムーズに行われています。 ○「学校のきまりやマナーを守る(95.1%)」、「適切なタブレット使用(97.6%)」など、自律した態度が顕著です。 ○91.0%の生徒が「先生の教え方が分かりやすい」と感じており、学習に対する肯定的な受け止めがなされています。 ○「人権学習(91.0%)」や「目標に向かって努力する(91.8%)」といった内面的な成長を問う項目でも高い数値が出ています。</p> <p>【今後の課題：生活習慣と相談体制】 肯定的な回答が多い一方で、心身の健康や支援体制において以下の課題が見られます。 ○「十分な睡眠がとれている」の肯定率は65.5%で、全項目中最も低くなっています。また「規則正しい生活(77.8%)」も他項目に比べ低く、生活リズムの乱れが懸念されます。 ○「相談できる先生がいる」の否定的な回答(あまり思わない・そう思わない)は25.4%に達しており、4人に1人が不安や悩みを抱えた際に、教師に対して心理的な壁を感じている可能性があります。信頼に基づいた人間関係を構築し、生徒が困っている時に、ちゃんと支えられるようにしていきたいと思えます。 ○ネット利用の約束遵守(73.0%)や家の手伝い(69.7%)は、学校での活動に比べるとやや低い傾向にあります。</p>
--

校長から

<p>学校教育活動に関するアンケートにご協力いただき、さまざまなご意見を寄せていただいたことに心より感謝申し上げます。</p> <p>今回の集計で何より心強く感じましたのは、「わからない」という回答が減り、多くの項目で具体的な判断をいただけたことです。これは、保護者のみなさまが日ごろからお子様との会話を大切に、学校の様子に高い関心を寄せてくださっている証左であり、大変ありがたく身の引き締まる思いです。</p> <p>今年度は、吉野祭や体育祭をはじめとする各行事、そして部活動の大会等において、多大なるご支援と熱い応援をいただきました。生徒たちが自分たちで考え、ひたむきに努力し、輝く姿を見せることができたのは、みなさまのご協力と支えがあったからこそです。お礼申し上げます。</p> <p>一方で、生活指導や学習活動の面におきましては、厳しいご意見やご指摘もいただいております。これらを学校への期待の裏返しであると真摯に受け止め、全教職員が一丸となって指導体制の改善や授業の質向上に向けた実践につなげてまいります。</p> <p>今後は「生徒にとっても、保護者にとっても、相談しやすい環境づくり」を最優先事項として取り組み、対話を大切にしながら、保護者・地域のみなさまと「ともにある学校」をめざしてまいります。来年度も引き続き、本校の教育活動へ変わらぬ応援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。</p>
--